

市民の皆さんの自由投稿コーナー

みんなの広場

八潮を非行や犯罪のない明るいまちに

草加・八潮地区保護司会副会長 石井 孝光

私たち保護司は、非行少年や犯罪者の更生を援助し、彼らが社会に適応していくのを支えていくこと、地域社会での犯罪予防活動を推進することを使命に日々活動に励んでいます。

私は、保護司の委嘱を受けて25年になりますが、保護観察対象者に対し、どの様に道徳心を認識させ指導するべきか、また、どの様に向き合い接していくべきか、常に念頭に置きながら更生支援をしているところです。

時としてうまく伝わらないこともあり、どのように対処していけば良いのか、心の中で何度も自問自答することがありますが、保護観察対象者が更生の道を歩み、社会生活に適応していく姿を見ると、何にも代えがたい喜びを感じ、保護司としてのやりがいを感じます。

現在、八潮市においては、草加・八潮地区保護司会を組織し、八潮地区に28人、草加地区に60人の計88人が保護司として活



社会を明るくする運動キャンペーンのアトラクション(八潮中学校吹奏楽部による演奏)



社会を明るくする運動キャンペーンで啓発品を配布

躍、指導にあたっています。

八潮地区の保護司会の活動としては、法務省主唱の「社会を明るくする運動」強化月間にあわせ、つくばエクスプレス開業後の平成19年から毎年八潮駅前周辺において啓発を図るためのキャンペーンを行っています。

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

今年、7月7日(土)に開催し、八潮中学校吹奏楽部による演奏や市内5校の中学校のボランティア部員生徒、八潮地区更生保護女性会とともに啓発品の配布を行いました。

私は、八潮市で生まれ育ちましたが、八潮を非行や犯罪のない明るいまちにしたいという思いで日々の保護司活動に励んでいます。

ものづくりにチャレンジ



7月13日、松之木小学校で、「ものづくり技の教室」が開催されました。

この教室では、埼玉県技能士会連合会の会員が講師となり、6年生児童が表札、からくり屏風、畳・座布団などを製作しました。

児童は、講師の話にしっかりと耳を傾けながら、普段あまり目にすることのない工具などを使って、真剣な表情でものづくりにチャレンジしていました。

手作りの水鉄砲で打ち水作戦



7月28日、八潮駅前出張所前で、「打ち水作戦」が行われ、親子など約150人が参加しました。

打ち水は昔からの日本の風習であり、庭や道路など屋外に水をまくことによって涼しさを感じることができます。

親子で楽しく打ち水を行うために、竹を利用した昔ながらの水鉄砲を作ったのち、できあがった水鉄砲を使って、歩道に水をまいたり、的に水を当てるゲームなどを行いました。

暑さを忘れながら、楽しいひとときを過ごしました。

戦争と平和を改めて考える



7月24日～28日、八幡公民館で、「平和を考える5日間～戦争の悲惨さを知り、平和を考える～」が開催されました。

映画上映会、朗読会、講演会が行われたほか、パネル展も同時に開催されました。

戦争体験された方をはじめ、幅広い年齢層の方が多数来館され、「戦争の恐ろしさを伝えることが、これからの平和を考えることにつながる」などの感想が寄せられ、戦争と平和について、改めて考える機会となりました。

悪疫防ぐ 願いをこめて 獅子舞奉納



7月15日、二丁目の氷川神社の祭礼にて、獅子舞の奉納が行われました。

350年以上続くこの獅子舞は、3頭の獅子がムラに邪気が入らないように舞う祈禱性の強いものです。市の無形民俗文化財に指定され、古式にのっとった祭礼が継承されています。

夏の暑い盛りにも関わらず、たくさんの方が見学に訪れ、一庭(曲)が1時間以上も続く表情豊かな獅子の舞に見入っていました。

いきいきやしお写真館